

ボランティア通信 2016.3 Vol.191



# な か ま

発行：交野市ボランティアグループ連絡会  
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp  
Vセンター E-mail katabora@nike.eonet.ne.jp

ボランティアを  
紹介してほしい人  
ボランティア活動を  
はじめたい人  
ボランティアセンターに  
お問い合わせください  
( ☎ 894-3737 )

阪神淡路大震災から21年、当時の記録を検証  
**災害の記憶を風化させないために**  
交野市ボラ連の活動を「ボランティアOSAKA」が取り上げる



前日にゆうゆうセンターで下ごしらえに精を出すボランティアたち



朝早くから全員がそれぞれの役割をこなしていく

西宮市を拠点に救援活動  
野菜サラダ・フライ600食を提供

平成7年2月、西宮市総合福祉センター(当時避難所に)へ、交野市社協の要請を受け、炊出しボランティアとして20人が出勤。被災者は野菜が不足しているのではと「野菜サラダとフライ」に決めた。フライはニチレイがら無償で提供いただき現地で揚げることにしました。

り1作 間野分た  
ま2り ま行の、め東  
し0のたい商義、北  
た組お「ま業援救大  
。余地糸し施金援震  
り蔵ぐるた。や呼資の  
を被(写真ま。駅か収遠  
災真)で6をと地  
地にさん手日交仕の  
送

**東北大震災では**

思今 果 | 与 が 名 た 家 安  
い後 こ が ズ え 住 前 ° 庭 否  
まに れ あ に た 民 が そ の 訪 確  
す。承 の ま け う 方 つ 際 な た 川  
。承し 貴 した。て 問 安 ニ 市 行 一  
(栗原) いこうと 効 ム を ム の し 軒 人  
の

**独居老人の安否確認も**

に 経 ン は  
立 験 プ 障 多  
ち して 大 がい の 炊  
ま いた の 量 見 (者) 出し  
した。 の 食 事 と の し  
が大 作 の キ につ  
変 作 り の キ いて  
役 を を ヤ

障がい児(者)との  
キャンプ体験が活きる



# ボランティアグループ 近況あれこれ

## 要約筆記体験講座 3市共催で開く

1月5日(火)・12日(火)の2日間、「ラポール枚方」で枚方市・寝屋川市・交野市の3市共催による市民対象の「要約筆記体験講座」を実施しました。講座は午前10時〜12時の2時間、3市より17名の参加者でした。実際に、難聴者の方も、お話を聞いていただくことができたのが一番の成果でした。

要約筆記「星の会」



## お国自慢料理で 外国人と異文化交流

1月17日(日)、ゆうゆうセンターで近隣に住む外国人らとビュッフェ形式によるパーティーを開催しました。それぞれのお国の話が弾みました。食事を共にすることで親近感が生まれ、文化の違いを知り、互いに理解しあえる良い機会になりました。

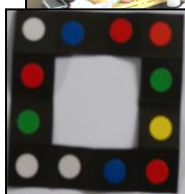
最後に「玉手箱」の井上さんに南京玉すだれを教わり大変盛り上がりました。

国際交流・理解「KIC」

## マジック&ルービックキューブで 新年会を楽しみました

2月12日(金)、点訳「虹の会」では、会員の親睦を深めるために恒例の新年会を「花さか」(私部西)で開きました。

和やかな食事と会員のマジック、そしてルービックキューブでは大変盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。



## 第16回北河内識字・日本語交流会

## 昔あそびで玉手箱が参加

2月21日(日)、平成27年度第16回北河内識字・日本語交流会が当番市である交野市ゆうゆうセンターで開催され、北河内7市から多くの市民が訪れました。

この催しに「玉手箱」は昔あそびの会場を担当し、折り紙で雛人形、竹細工で竹トンボ・体操人形の製作や、ぶんぶん独楽、お手玉あそびなどに大奮闘の一日でした。

# 春をよぶみんなのコンサート

2 / 1 3 門真市市民文化会館ルミエールホール  
くらじワークセンター／ミルキーウェイが出演



「地域で障がいのある仲間たちにひと時の楽しみを」そんな気持ちを持った福祉施設・事業所や支援学校の人たちが1年間かけて進めてきたコンサート《春コン》に河北の14団体が参加。交野市からは「かたの福祉会・くらじワークセンター／心生会・ミルキーウェイ」の両施設が、それぞれ躍動感あふれるパフォーマンスを繰り広げました。



「きらきら星・アンパンマンマーチ」を楽器演奏  
《ミルキーウェイのみなさん》



テンポよく「鉄腕アトム」を楽器演奏  
《くらじワークセンターのみなさん》

## ボランティア インタビュー41



松井艶子さん  
花と緑の会  
「いぶき」



ボランティアを始めたい  
っかけは…

市広報に掲載されていた、いぶき主催の「寄せ植え教室」に参加し、会員募集もされていることを知りました。もとより園芸に興味があり、樹木や草花が好きなので喜んで入会しました。

### 草花に感謝の日々を

寒い日、暑い日の草抜きや水やりは大変ですが、一粒の種から育て上げ、生育した花の苗を各花壇に植え付ける時はこの愛しい花たちのデビューで「いぶき」の一代イベントなんです。物言わぬ花たちが私たちの手から巣立ってゆきます。

「美しいお花ですね」「いつもありがとうございます」とお声を頂いた時は、今までの疲れも吹っ飛び至福の時を感じます。「ああ、いぶきに入って良かった」と思い、こちらこそ感謝です。

### 料理も手芸も好き

料理、作るのも食べるのも好きです。(インタビュー中、近くにいた「いぶき」の方が「料理お上手ですよ」との声)手芸も好きで、いまお雛様を作っています。

### 今後の活動について

会員の皆さんも高齢化に入っており、無理なく自分の体調にあった活動をして、これからもみどりいっぱい花いっぱい運動に繋がっていかれたらうれしく思います。

# ボランティア活動保険加入者に 自己確認用カードを発行

遠方の被災地等でボランティア活動をしている方からの「自分が何のボランティア保険に入っているか確認できるものがほしい」という声をきっかけに、大阪府社会福祉協議会がボランティア活動保険の加入者に向けて、名刺サイズの確認用カードを作りしました。

平成 年度 ボランティア活動保険加入者カード

加入団体名	様
加入者名	様

加入プラン A ・ B ・ C プラン

補償期間 平成 年 月 日～平成 年 3月 31日 まで

制度運営 (福)大阪府社会福祉協議会

受付窓口 ( ) 社会福祉協議会

☎ - -

あくまで、ご自身の保険加入状況を確認するためのカードで、保険会社や社会福祉協議会が、このカードで加入の確認や保険適用を行うことはありません。ボランティア活動中に事故などがあり、保険会社へ連絡する際の手続き方法も、これまでと変更はありません。

このカードは、平成28年度分より発行を開始します。必要な方は、保険加入時に窓口にて、カード発行の希望を申し出てくださいます。個人の加入者の場合、職員がカードに記入をいたしますが、グループ・団体の場合は、見本として代表者分のみ、窓口職員が記入します。加入人数、またはカード配布希望人数分のカードをお持ち帰りいただき、残りはご自身で記入をお願いいたします。

リーダー会議  
(2月23日)

- ☆連絡会より
- ボランティア交流会会計報告及び同実行委員会反省会報告、リーダーからの感想も聴取しました。
- ☆各グループ報告
- ・「なかま」のレポーターについて各グループから報告をいただきました。
- ・9グループから現況報告をしていただきました。
- ☆セクターから
- ・ボランティア活動保険の確認用カードについて
- ・平成28年度依頼書
- ・平成28年度グループリーダー・サブリーダーの選出(3月のリーダー会議で報告)
- ☆社会福祉協議会から
- ・ボランティアセンターのあり方や運営について意見交換をしました。
- ・ボランティアセンターの備品管理と整理について5月中旬を目途に各グループとの意見調整を行います。

編集  
後記



寒暖差の大きい冬を越えて早や3月、春ですね。この頃気になる事がある。一番は自分の事、これからどんな道筋で老いて行くのか? 高齢者とは言いながらまだ老人にならない。日々ボラが出来て、テニス、ゴルフと楽しみ、継続は力なりと寒中見舞いを出している自分が居る。老化現象を認識している事もあるが、この先が気になりだした。パタッと寿命が尽きるのか、どこまでも健康寿命が伸びて元気で過ごせるのか、先が見えない事で幸せなのか、そんな時、本の広告が目に入った。『ちゃんとより、がんばるより、適当なくらいが人生うまくいく』出会った言葉に感謝。  
(翔女)